

2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動の解析

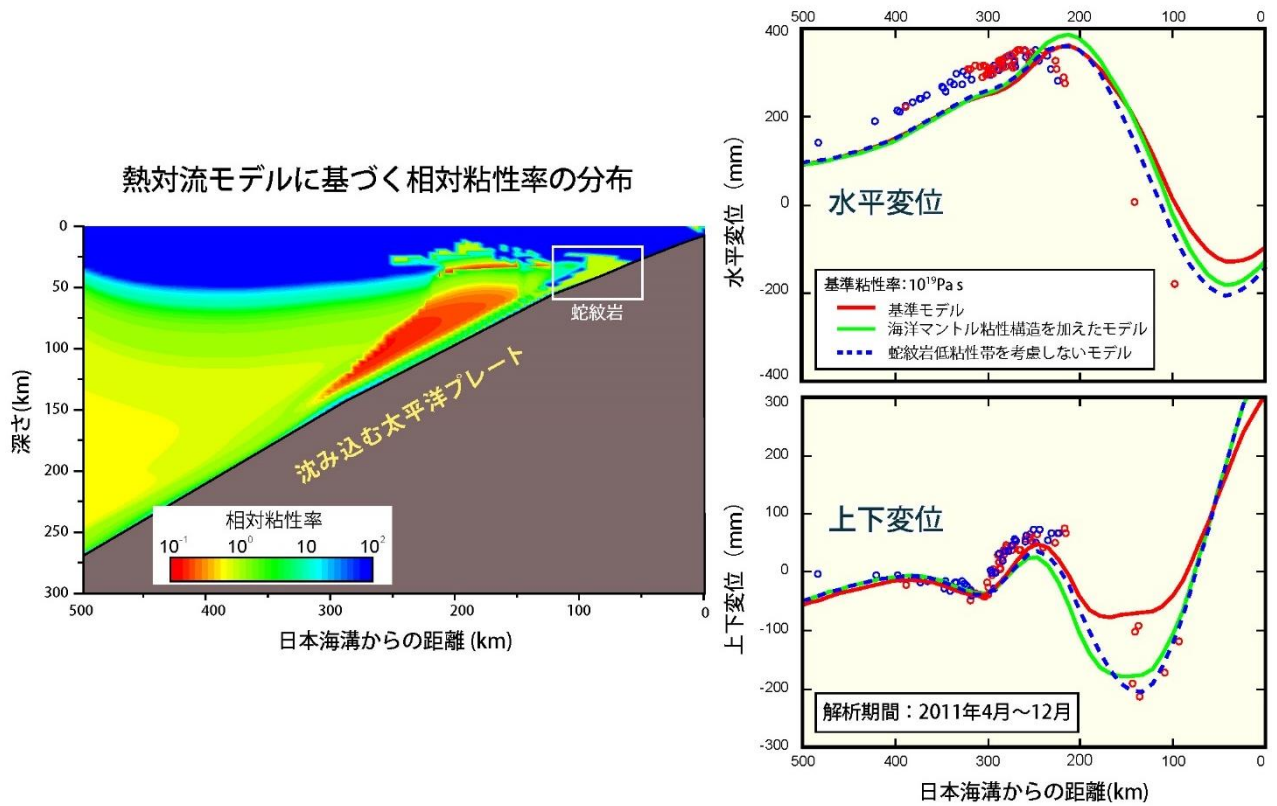


図9 熱対流モデルを用いた2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動の解析

東北地方の沈み込み帯熱対流モデルに基づく2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動のモデル計算と観測値との比較。ウェッジマンタルの熱対流モデルから相対粘性率を推定し基準粘性率を与え、沈み込む海洋マンタルの粘性構造や蛇紋岩低粘性帯を考慮することで、観測された余効変動をよく再現できた。